

H19年度

2級問題 共通

【広告物の種類及び構造】

192 ネオン管の発色には、ガス放電によるものと着色管によるものがある。 (18年度 真偽)

193 屋外広告物は、形態、設置位置（場所）、材料、照明により分類されるが、シートポスター広告板は、材料の分類に属する。 (18年度 真偽)

194 屋外広告の電気サインは、照明方法によって次の3種類に分類される。

- (1) 直射サイン
- (2) 反射サイン
- (3) 透過サイン (17年度 真偽)

195 アドバルーンを利用して掲出する広告物は、屋外広告物ではない。 (16年度 真偽)

196 屋外広告物に含まれない広告メディアはどれか。 (18年度 択一)

- イ バナー
- ロ 千社札
- ハ 商店街入口アーチ
- ニ のれん

197 屋上広告塔は、どの分類に属するか。 (17年度 択一)

- イ 形態による分類
- ロ 設置位置による分類
- ハ 製作材料による分類
- ニ 照明による分類

198 屋外広告でないものはどれか。 (16年度 択一)

- イ 電車・自動車などの車内に表示されたもの。
- ロ 消火栓広告
- ハ 構築物に取付けられた垂れ幕
- ニ 建築物の外壁に投影された映像表示

【広告物の素地の製作方法】

199 合板にオレフィン系のシートを貼った広告面素材は、粘着シートの貼り加工や水性、油性塗料などの使用に適している。 (18年度 真偽)

200 広い面積をラッカーエナメル塗装する場合は、ローラー塗装より吹付け塗装のほうが適している。 (16年度 真偽)

201 シナ合板素地の広告板に、酢酸ビニルエマルションペイントで塗装する場合、素地面の釘頭の処理として、最も適切なものはどれか。 (18年度 択一)

- イ よく打ち込む。
- ロ パテ付けをする。
- ハ 切取って打ち込む
- ニ さび止め処置をする。

202 鉄板に直に塗装し、長期間屋外に掲示する広告板を製作する場合に使用する塗料で、適切でないものはどれか。 (17年度 択一)

- イ 合成樹脂塗料
- ロ ラッカーコート
- ハ 油性塗料
- ニ 酢酸ビニルエマルションペイント

203 内照式プラスチックサインを製作する場合の注意点として、誤っているものはどれか。 (17年度 択一)

- イ プラスチック板は熱で表側に膨らむ傾向がある。
- ロ プラスチック板は熱で歪む傾向があるので、換気孔を設ける。
- ハ フレーム付きの場合、夏と冬でプラスチックの伸縮差があることを考慮する。
- ニ 風圧に耐えるプラスチック板厚と構造にする。

204 広告板製作に使用されない材料はどれか。 (16年度 択一)

- イ アクリル樹脂板
- ロ かつら材
- ハ 発泡スチロール
- ニ パーティクル・ボード

205 鉄板に直に塗装し、長期間屋外に掲示する広告板を製作する場合に使用する塗料として、適切でないものはどれか。
(16年度 択一)

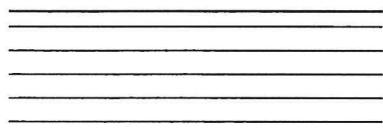
- イ 合成樹脂塗料
- ロ ラッカーコート
- ハ 油性塗料
- ニ 酢酸ビニルエマルションペイント

206 900mm×1800mmの木枠に0.4mmのカラートタンを張るのに適さないものはどれか。 (16年度 択一)

- イ 接着
- ロ 釘止め
- ハ 木ねじ止め
- ニ ステップル止め

【広告物の製作図の作成方法】

207 日本工業規格（J I S）の建築製図通則によれば、下図は、普通ブロック壁の材料構造表示記号である。 (18年度 真偽)



208 製図における尺度の表し方は、現尺の場合はS1:1、倍尺の場合はS1:2、縮尺の場合はS2:1と記す。 (17年度 真偽)

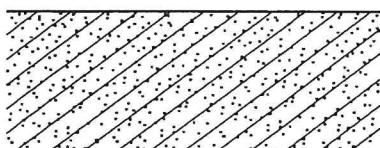
209 透視図では、直進する道路は遠く離れるほど、道路幅は狭くなり、地面と空との境で一点に集まってしまうが、これを消点という。 (16年度 真偽)

210 日本工業規格（J I S）の建築製図通則によれば、下図に示す材料構造表示記号として、正しいものはどれか。
(18年度 択一)



- イ 地盤
- ロ 砂・砂利
- ハ 割栗
- ニ コンクリート

211 日本工業規格（J I S）の建築製図通則によれば、下図に示す材料構造表示記号として、正しいものはどれか。
(18年度 択一)



- イ ブロック壁
- ロ 石材又ははぎ石
- ハ 左官仕上
- ニ タイル又はテラコッタ

212 図面上の材料を示す記号と意味の組合せとして、誤っているものはどれか。 (17年度 択一)

- イ AB 石膏ボード
- ロ AL アルミニウム
- ハ CB コンクリートブロック
- ニ LGS 軽量形鋼

213 建物の構造、設備などの図面上にある記号と意味の組合せとして、誤っているものはどれか。 (16年度 択一)

- イ CH-天井高
- ロ FL-基準床面
- ハ RC-軽量気泡コンクリート
- ニ GL-基準地盤面

【広告物の取り付け方法】

214 ALC仕上げの壁面に重量広告物を取り付ける場合、アンカーボルトは、壁面が仕上がってから取り付けたほうがよい。
(18年度 真偽)

215 単独基礎の広告物は、地震や風の外力によってフーチングに浮き上がりを発生して、転倒につながることがある。
(18年度 真偽)

216 突出し広告板の振れ止めや筋かいの取付け角度は、30度くらいに取り付けるのが最もよい。 (17年度 真偽)

217 スチールポールに広告物を取り付ける場合、広告物の自重は、考慮する必要がない。 (16年度 真偽)

218 突き出し広告板は、クレーンで取り付けることが多いので、つり環を付けておくのがよい。 (16年度 真偽)

219 屋上広告物の資材の玉掛け作業に関する記述として、誤っているものはどれか。 (18年度 択一)

- イ 長尺ものには「つり袋」と「かいしやく綱」を用いる。
- ロ 玉掛けワイヤロープは、常に2本掛けとする。
- ハ つり角度が大きくなると、作用する張力は小さくなる。
- ニ フックは、つり荷の真上に誘導する。

220 足場の外側に設ける通称「アサガオ」の設置目的として、正しいものはどれか。 (17年度 択一)

- イ 騒音防止
- ロ 落下物防止
- ハ 風圧防止
- ニ 水漏れ防止

221 インパクトレンチ（インパクター）の用途はどれか。 (16年度 択一)

- イ ボルトの切断
- ロ パンチ穿孔
- ハ ボルト、ナットの締め付け
- ニ ボルトのねじ切り

【広告物の安全に関する力学の基礎】

- 222 広告物を建築物に取り付ける場合は、その広告板の自重を保持できれば、風圧にも耐えることができる。
(17年度 真偽)
- 223 地上10m以上の建築物の屋外広告物と外壁面に取り付けた広告物に作用する設計上の風圧力は、屋外広告物のほうが強い。
(17年度 真偽)
- 224 広告物が受ける風圧力は、広告物の種類と設置状況により異なる。
(16年度 真偽)
- 225 地盤の長期許容地耐力が最も大きいものはどれか。
(18年度 択一)

- イ 関東ローム層
- ロ 岩盤
- ハ 砂質地盤
- ニ 磯層

226 自立広告物の基礎底面には、広告物自重、基礎自重、地震、風などが作用するが、それに耐えられる地盤のうち、最も強いものはどれか。
(16年度 択一)

- イ 密実な砂質地盤
- ロ 粘度質地盤
- ハ 密実な磯層地盤
- ニ ローム層地盤

【材料】

- 227 硬質塩化ビニル低発泡板（PVCシート）には、下孔をあけなくても直接釘打ちやネジ止めができる。
(18年度 真偽)
- 228 フレキシブルフェイスの汚れは、シンナーで拭くとよい。
(18年度 真偽)
- 229 LED(発光ダイオード)は、低電圧、低電流で作動し小型軽量等の特色を持ち、青系の輝度も高くなり、色のバランスがよくなった。
(17年度 真偽)
- 230 次のうち、木材の切り抜き文字の素材として適するものは(3)である。
(1)けやき (2)松 (3)かつら
(17年度 真偽)
- 231 塗料用シンナは、一般に、ラッカーシンナより引火しやすい。
(16年度 真偽)
- 232 コンクリート壁面に文字を書く場合は、油性調合ペイントが最も適している。
(16年度 真偽)
- 233 ウルトラマリンブルーと呼ばれる顔料はどれか。
(18, 16年度 択一)
- イ 群青
 - ロ 緑青
 - ハ 紺青
 - ニ 青紫
- 234 屋外用粘着シートの裏面が銀色や灰色をしているものがあるが、この理由として当てはまるものはどれか。
(18年度 択一)
- イ フィルム強度を増すため
 - ロ のりの硬化を防ぐため
 - ハ 接着強度を増すため
 - ニ 下地色のすけを防ぐため
- 235 アクリル系プラスチックの性質に関する記述として、誤っているものはどれか。
(17年度 択一)
- イ 光の透過性が良い。
 - ロ 軟質である。
 - ハ 比較的燃えやすい。
 - ニ 耐候性が良い。

236 塩化ビニル系プラスチックの性質に関する記述として、誤っているものはどれか。 (17年度 択一)

- イ 光沢がにぶい。
- ロ 柔軟性がある。
- ハ バフ研磨によって光沢ができる。
- ニ 傷がつきやすい。

【コミュニケーションとデザイン】

237 デザインは、人間の3つの基本的な営みである生産・コミュニケーション・環境形成に対応するプロダクト・デザイン、ビジュアル・コミュニケーション及び環境デザインに大別される。 (18年度 真偽)

238 広告媒体は、広告メッセージをその受け手に伝達する手段である。 (16年度 真偽)

239 文中の（ ）内に当てはまる語句として、誤っているものはどれか。

屋外広告でコミュニケーションをはかる場合、情報の送り手は強い訴求力を期待することが多い。しかし、その広告物が（ ）とのバランスを欠くと市民の反発を招き、逆効果になることがある。 (17年度 択一)

- イ 技術
- ロ 景観
- ハ 効果
- ニ 視認性

240 「社会生活を営む人間の間に行われる知覚・感情・思考の伝達」と定義されている事項は、どれか。 (17年度 択一)

- イ 広告
- ロ 広報
- ハ コミュニケーション
- ニ 宣伝

241 文中の（ ）内に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

記号（サイン）は、符号的な記号（A）と象徴的な記号（B）に分けられる。

- | | |
|--------|-------------|
| A | B (16年度 択一) |
| イ シグナル | シンボル |
| ロ シンボル | シグナル |
| ハ 文字 | 形 |
| ニ 形 | 文字 |

242 文字看板は、文字によるコミュニケーション効果を上げるものであり、その例として適切でないものはどれか。 (16年度 択一)

- イ おでん屋の赤提灯
- ロ そば屋の藍のれん
- ハ 料理屋の行灯看板
- ニ 床屋のねじれ棒

【デザインの基礎】

243 図形は、その図形が持っている方向要素を重視して構成しなければならない。 (18年度 真偽)

244 デザイン構成において、鋭角は鈍角より方向性が強い。 (17年度 真偽)

245 垂直方向の線は、同じ長さの水平方向の線より長く見える。 (16年度 真偽)

246 文中の（ ）内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

（ ）とは、左右の形態が全く対称であったり、同じ形態が放射状にレイアウトされたりしている場合をいう。

- イ コントラスト
- ロ ダイナミック
- ハ シンメトリー
- ニ プロポーション

247 レイアウトの発想には、必要な構成要素の位置と方向を定めることから始まるが、これに関して下図と関係するものはどれか。 (18年度 択一)



- イ 垂直と水平の関係
- ロ 多焦点の構成
- ハ 中心と求心・放射の構成
- ニ 対角線の構成

248 錯視に関する記述で、不適切なものは、次のどれか。 (17年度 択一)

- イ S字形は、下部より上部が大きく見える。
- ロ 正方形は横にわずかに長く見える。
- ハ 正方形を上下に2等分したとき、上方が大きく見える。
- ニ 半円を交互につないだ曲線は滑らかさに欠け、ぎこちなく見える。

249 レイアウトを考える上でのバランスに関する記述として、適切でないものはどれか。 (17年度 択一)

- イ 配色の強弱によってバランスが保たれる。
- ロ シンメトリーは、バランスが保たれる。
- ハ 重い形態を上部に配置すると安定する。
- ニ 大きな形態を中心に近づけると安定する。

【色彩】

250 全ての素材色は、色の三属性である色相・明度・彩度によって表記することができる。 (18年度 真偽)

251 色光の波長を長い順に並べると、青紫、青、緑、黄、橙赤、赤、赤紫となる。 (18年度 真偽)

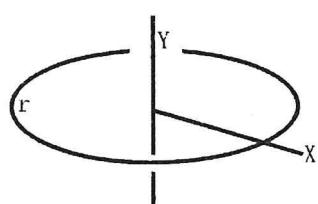
252 光を最もよく吸収する色は、赤色である。 (17年度 真偽)

253 色対比とは、接近して置かれた色が互いに影響し合って、見え方が変わる現象をいう。 (16年度 真偽)

254 マンセル記号による色表示のうち、濃い緑の系統の色を表しているのはどれか。 (18年度 択一)

- イ 5 G 6 / 5
- ロ 5 B 6 / 5
- ハ 5 R 6 / 5
- ニ 5 Y 6 / 5

255 下図の色立体の概念図において、X・Y・rに当てはまる語句の組合せとして適切なものはどれか。



- | | | | |
|---|----|----|----|
| | X | Y | r |
| イ | 彩度 | 明度 | 色相 |
| ロ | 明度 | 色相 | 彩度 |
| ハ | 色相 | 彩度 | 明度 |
| ニ | 明度 | 彩度 | 色相 |

(17年度 択一)

256 3原色に関する記述のうち、適切なものはどれか。 (17年度 択一)

- イ 色料の3原色、光の3原色がある。
- ロ YMCに対するPGOの関係をいう。
- ハ 人間の視覚に最も刺激の強い3色をいう。
- ニ 自然界に最も多い色である。

257 文中の（）内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

暖色と寒色の間に位置する色相の緑や紫は、（）と呼ばれる。 (16年度 択一)

- イ 中間色
- ロ 中性色
- ハ 前進色
- ニ 有機色

【広告デザイン】

258 ローマ字書体のフツラは、モダンローマン体である。 (18年度 真偽)

259 ローマ字書体のガラモン(ギャラモン)は、モダンスタイルである。 (18年度 真偽)

260 日本工業規格 (J I S) によれば、安全標識には、機能的な配色が決められている。 (18年度 真偽)

261 ロゴタイプには、合成文字、2個以上の文字を組合わせてマークにしたもの、社名や製品名を特定のスタイルで表現したレタリング、の3つの意味がある。 (17年度 真偽)

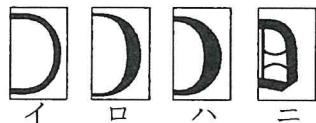
262 ローマン体のスペーシングは、セリフの間隔を同一寸法にするとよい。 (17年度 真偽)

263 ローマ字書体のガラモン(ギャラモン)はモダンスタイル、ボドニはオールドスタイルである。 (16年度 真偽)

264 ロゴタイプに関する記述として、誤っているものはどれか。 (18年度 択一)

- イ 企業姿勢や商品イメージを視覚的に伝える。
- ロ ロゴマークとして、シンボルマークの機能を持つものもある。
- ハ 企業や組織のC I (コーポレートアイデンティティ) では、シンボルマークほど重視されない。
- ニ いくつかの文字を一体化した「合成活字」の意味がある

265 下図は、ローマ字書体の部分であるが、モダンローマンはどれか。 (18年度 択一)



266 ローマ字のシステムで、ミーンラインと呼ばれるものはどれか。 (18年度 択一)



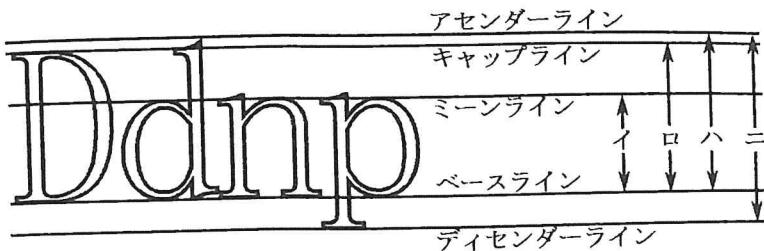
267 サンセリフ書体「ユニバース」はどれか。 (17年度 択一)



268 ロゴタイプについての記述として、誤っているものはどれか。 (16年度 択一)

- イ 企業や組織等の指定書体
- ロ 商品やサービスを視覚化した書体
- ハ 多様性を目的とした一つのフォント
- ニ 組合せ活字

269 ローマ字の級数を表すのは、どの幅か。 (16年度 択一)



270 ローマ字書体のボドニに関する記述のうち、誤っているものはどれか。 (16年度 択一)

- イ 幾何学的な線で構成されている
- ロ セリフのブラケットが三角形のようになっている。
- ハ 縦線と横線の太さの比が大きい。
- ニ モダンフェースの代表的書体である。

【美観風致】

271 屋外広告物は、より大きく、より色彩の目立つものであればよい。 (17年度 真偽)

272 交通標識や安全標識には、機能的な配色が決められている。 (16年度 真偽)

273 景観に関する文中的（）内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。
景観は人間が（）に対する対し方に立脚しており、人間と（）の関わりを理解する有力な現象である。
(17年度 択一)

- イ 自然
- ロ 文化
- ハ 環境
- ニ 人工物

274 屋外広告物と景観に関する記述のうち、正しいものはどれか。 (16年度 択一)

- イ 屋外広告物は、街の活性化に貢献することが主目的であるから、景観への配慮は二次的にならざるを得ない。
- ロ 屋外広告物は、街の景観形成に対して大きな影響力があり、その責任が問われている。
- ハ 屋外広告物は、デザインが良ければどのような環環にあっても、景観上問題にされることはない。
- ニ 屋外広告物のデザイナーは、街の景観に対して責任を問われる立場にはない。

275 屋外広告の効果は、景観との関係によって得られるが、この観点から見て、最も適切な説明はどれか。 (16年度 択一)

- イ 地域の特性を生かした共感できる広告物による街づくり効果
- ロ 周辺環境の中で、より目立つ色彩による広告の印象効果
- ハ マスメディア広告との連合による、より大きな広告物の視覚効果
- ニ 同一の広告物を多量に配置することによる広告の相乗効果

【関係法規】

276 建築基準関係法令によれば、工作物とは、広告物の高さが2mを超えたものをいう。 (18年度 真偽)

277 建築基準関係法令によれば、原則、広告物の高さが4mを超える場合、工作物確認申請が必要である。 (17年度 真偽)

278 屋外広告物は、大きさにかかわらず、工作物確認申請をする必要はない。 (16年度 真偽)

279 屋外広告物に当たはまらないものはどれか。 (18年度 択一)

- イ 交通機関の乗客に対して表示された交通広告
- ロ 自動車の車体に表示された広告
- ハ 工事現場の仮囲いに表示された広告
- ニ アドバルーン

280 屋外広告物関係法令によれば、正しい記述はどれか。 (16年度 択一)

- イ ニュースのみの報道を行い、一般商業広告を行わない電光掲示板は、屋外広告物ではない。
- ロ 駅等の改札口の内側の人に表示された広告物は、屋外広告物ではない。
- ハ 建築物の外壁面に描かれた絵画は、屋外広告物ではない。
- ニ 公の機関が、電柱に広告物の表示を禁止する旨を書いた札を当該電柱に表示した場合、この札は、屋外広告物ではない。

【安全衛生】

281 労働安全衛生法では、その企業の自主的な安全衛生活動を制度的に担保するために、労働安全衛生管理組織の設置について定めている。 (18年度 真偽)

282 最大荷重 1 t 未満のフォークリフトの運転業務は、特別教育や技能講習を受けない労働者が行ってもよい。 (17年度 真偽)

283 つり足場の上で簡単な作業を行う場合は、脚立やはしごなどを使用してもよい。 (17年度 真偽)

284 一般に、人体内に50mA以上の電流が流れると生命が危険とされ、100Vの電圧でも死亡することがある。 (16年度 真偽)

285 労働安全衛生関係法令によれば、足場の組立て等の作業主任者が事業所に 1 名選任されていれば、同時に異なった作業場で足場の組立て等の作業が実施できる。 (16年度 真偽)

286 文中の（ ）内に当たはまる語句として、正しいものはどれか。

労働安全衛生関係法令によれば、高さ又は深さが（ ）を超える箇所で作業を行うときは、当該作業に従事する労働者が安全に昇降するための設備等を設けなければならないと規定されている。 (18年度 択一)

- イ 10 m
- ロ 5 m
- ハ 3 m
- ニ 1.5 m

287 作業場内の環境を快適に保つことは、従業員の安全や健康、効率の良い作業を継続する上で重要であるが、作業場内の環境として要求されないものはどれか。 (17年度 択一)

- イ 空気環境
- ロ 溫熱環境
- ハ 視環境
- ニ 水環境

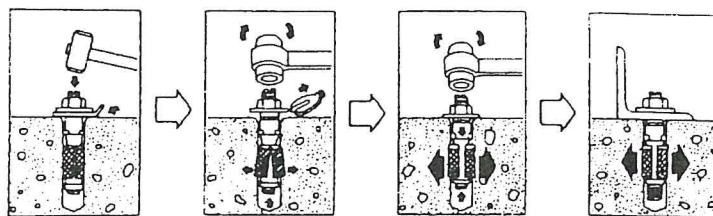
288 やけどをした場合の応急処置手順に関する記述として、誤っているものはどれか。 (16年度 択一)

- イ 患部は低温で冷やすことが重要なので、時間がかかるつても氷水をつくり、十分冷やす。
- ロ やけどの範囲が広い重症の場合には、軽症の場合より長く患部を冷やす。
- ハ 着衣のままやけどし、衣服が患部に密着している場合は、無理に衣服を脱がさず、着衣のまま患部を冷やす。
- ニ 冷やしたあとは、患部を清潔な布で包み病院へ行く。

【機械器工具】

289 エナメルは、油性塗料より刷毛さばきが重く、塗りにくい。 (17年度 真偽)

290 下図の取付手順に示すアンカーボルトの型として、正しいものはどれか。 (17年度 択一)



- イ 打ち込み型
ロ 締め付け型
ハ 薬液接着型
ニ 中空型

- 150 ○
151 ×
152 ○
153 ○
154 ○ レーザーカッターマシンにより切断すると、切り口が平滑・透明で綺麗な仕上がりとなる。
155 ○
156 ×
157 ○
158 ×
159 ○
160 ×
161 ×
162 ○
163 ○
164 ○
165 ○
166 ○
167 □
168 ハ
169 ハ
170 ニ
フッ素樹脂コーティングは耐候性、対汚染性に優れ、適度なコーティングにより重ね貼りも可能だがインク等の印刷は不可能。
171 ニ
172 イ
173 ニ
174 ニ
175 イ
176 ハ
177 ハ
178 ハ
179 ハ
180 イ ガラスビーズが集まっている。
181 □ 半透明色は点灯時と消灯時の色差が少ない。
182 ハ

【専門以外の仕上げ法】

- 183 ×
184 ×
185 ○
186 ○
187 □ ランニングソーは大型(大判)の板を直線に切断する。板を台上に固定させ、丸鋸が直線を移動する。
188 イ
189 ハ
190 ハ
191 イ

2級共通

【広告物の種類及び構造】

- 192 ○
193 ○ 社団法人全日本屋外広告業団体連合会発行「屋外広告ハンドブック第2版」P78
194 ○ 社団法人全日本屋外広告業団体連合会「屋外広告ハンドブック 第2版」P80

- 195 ×
196 □ 屋外で、不特定多数に向け表示されているとはいえない。
197 □
198 イ

【広告物の素地の製作方法】

- 199 ○ オレフィン系シート(非塩ビ系)を表面材としているので、塗料の使用に適している。塩素を含まないため焼却してもダイオキシンが発生しない。
200 ○
201 ニ
202 ニ
203 イ プラスチック板は、内部の熱により内側に向けてたわむ。
204 ニ
205 ニ
206 ニ

【広告物の製作図の作成方法】

- 207 × JIS A 0150 建築製図通則の材料表示記号による。
208 ×
209 ○
210 ハ JIS A 0150 建築製図通則の材料表示記号による。
211 ニ
212 イ
213 ハ

【広告物の取り付け方法】

- 214 ×
215 ○
216 ×
217 ×
218 ○
219 ハ 建設業災害防止協会発行「足場の組立て等工事の作業指針」P152～P153
220 □
221 ハ

【広告物の安全に関する力学の基礎】

- 222 ×
223 ○
224 ○ 屋上広告物、壁面広告物、自立広告物、高さ10m以上、未満、周囲の状況などにより異なる。
225 □
226 ハ

【材料】

- 227 ○ 低発泡PVCは、重さが硬質塩ビ板の約1／2、割れにくく、耐薬品性と加工性が良い。
228 × シンナーで拭くとフッ素コーティングを侵すため、中性洗剤を使用する。
229 ○
230 ○ かつらは目が細かく加工しやすい。
231 ×
232 ×
233 イ
234 ニ
235 □ 社団法人全日本屋外広告業団体連合会発行「屋外広告ハンドブック」P148

236 ハ

【コミュニケーションとデザイン】

237 ○

238 ○

239 □

240 ハ

241 イ

242 ニ

【デザインの基礎】

243 ○

244 ○

245 ○

246 ハ

247 □

248 □

249 ハ

レイアウトのバランスは、シンメトリーによる上下・左右対称や、放射対称の均衡や、配色の強弱、形態の配置など、見た目の感覚的均衡が大切である。重い形態が上部にあると不安定に見える。

【色彩】

250 × 蛍光色をはじめ、大部分の素材色の表記は不可能。

251 × 設問は波長の短い順に並べたもの。

252 × 黒が光を最もよく吸収する。

253 ○

254 イ

255 イ

256 イ

257 □

【広告デザイン】

258 × フーツラはサンセリフ体。

259 × ガラモンはオールドスタイル。

260 ○

261 ○

262 ×

263 ×

264 ハ

265 □

266 □

267 ハ イはフーツラ、□はベトン、ニはギル・メディウム。

268 ハ

269 ニ

270 □

【美観風致】

271 × 景観を考えた色彩・大きさとする。

272 ○

273 ハ

274 □

275 イ

【関係法規】

276 ×
277 ○
278 ×
279 イ
280 ロ

【安全衛生】

281 ○
282 ×
特別教育修了証が必要。労働安全衛生法第59条第3項にもとづき、労働安全衛生規則第36条第5項に定められている。
283 ×
284 ○
285 ×
286 ニ
287 ニ
空気環境(CO、CO₂濃度、粉じんなど)、温熱環境(温度、湿度)、視環境(照度、色彩など)、音環境(騒音、BGMなど)はどの産業にも共通の作業環境。(社団法人全日本屋外広告業団体連合会発行「屋外広告工事の安全作業マニュアル」)
288 イ

【機械器工具】

289 ○
290 ロ

2級ペイント

【専門仕上げ法】

291 ×
292 ○
293 ○
294 × アルコールで洗う。
295 ×
296 × 濃いと固すぎて詰まる。
297 ○ アルミニウムの粉が原料。
298 ○
299 ○
300 ×
301 ×
302 ×
303 ○
304 ×
305 ×
306 ○
307 ○
308 ハ
309 イ
310 ニ
311 ニ 砲金(ブロンズ)は青銅に亜鉛と鉛を加える。
312 イ 他は塗装用と経師用の工具。
313 ロ
314 イ
315 ニ
イ、ロは油分、汚れを落とすだけ。ハはアルミニウムは硬度が低いので、深い傷が残り、塗り上がり時に研磨傷を隠せない。

2級問題 ペイント

【専門仕上げ法】

- 291 自然乾燥形塗料の乾燥時間は、温度や湿度の影響を受けない。 (18年度 真偽)
- 292 ポリカーボネート樹脂は、耐衝撃性、耐熱性、耐寒性に優れている。 (18年度 真偽)
- 293 高温多湿のとき、ラッカー塗装を行うと白化現象（かぶり）を起こしやすい。 (18年度 真偽)
- 294 セラックニス塗装に用いた刷毛は、すぐに塗料用シンナーで洗っておくとよい。 (18年度 真偽)
- 295 アクリル板は、チャンネル文字でネオン管をカバーする材料として、防火上、塩化ビニル板よりも適している。
(18年度 真偽)
- 296 からす口に使用する絵具の濃度は、平塗りに用いるものより濃くしなければならない。 (17年度 真偽)
- 297 油性アルミニウムペイントは、耐熱性に優れている。 (17年度 真偽)
- 298 セラックワニスは、アルコール以外の溶剤に溶けにくい。 (17年度 真偽)
- 299 塗料用シンナーは、合成樹脂塗料の希釀に使用する。 (17年度 真偽)
- 300 エアレス・スプレーガンには、コンプレッサーを必要とする。 (17年度 真偽)
- 301 ドリルによるアクリル板の穴あけ作業では、板厚の厚いものほどドリルの回転数を低くする。 (16年度 真偽)
- 302 油性塗料の調色では、色合いを見本色より、やや濃く調色する。 (16年度 真偽)
- 303 金属文字のめっき面の保護にクリアラッカを塗ると、耐久性が良くなる。 (16年度 真偽)
- 304 プラスチック板の曲げ加工に使用する型板の材質として、最も多く使用されているのはけやきである。 (16年度 真偽)
- 305 有機溶剤は、引火点が高いものほど引火しやすい。 (16年度 真偽)
- 306 広告板の木地部分で、塗装前の素地調整に使用する研磨紙の番手は、180番ぐらいである。 (16年度 真偽)
- 307 羊毛の刷毛は、粘りの少ないさらりとした塗料を塗るのに用いられる。 (16年度 真偽)
- 308 ローラーブラシ塗装に適さない塗料はどれか。 (18年度 択一)
- イ 合成樹脂調合塗料
ロ フタル酸エナメル塗料
ハ アクリルラッカーエナメル塗料
ニ 合成樹脂エマルション塗料
- 309 塗装の略号とその塗装仕様の組合せとして、誤っているものはどれか。 (18年度 択一)
- イ V P 酢酸ビニルエマルションペイント塗り
ロ O P 油性調合ペイント塗り
ハ F E フタル酸樹脂エナメル塗り
ニ L E ラッカーエナメル塗り
- 310 研磨紙に用いる研磨材料として、使用されないものはどれか。 (18年度 択一)
- イ 溶融アルミナ
ロ 炭化ケイ素
ハ エメリー
ニ 寒冷紗
- 311 金属サインに使用する素材とその構成物質の組合せとして、誤っているものはどれか。 (18年度 択一)
- イ ステンレス 鉄、ニッケル、クロームの合金
ロ 真鍮 銅と亜鉛の合金
ハ 青銅 銅と錫の合金
ニ 破金 金とアルミニウムの合金

312 広告物のレタリング用具として、主に使用されるものはどれか。 (18年度 択一)

- イ 平筆
- ロ 筋かい刷毛
- ハ ローラ
- ニ なで刷毛

313 文中の（）内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

塗料を塗ったとき、塗料層が下方へ長く柱状に流れる現象を（）という。 (18, 16年度 択一)

- イ にじみ
- ロ たれ
- ハ あわ
- ニ ふくれ

314 アルミニウム複合板に関する記述として、誤っているものはどれか。 (18, 16年度 択一)

- イ 直角に折り曲げができる。
- ロ タッピング止めができる。
- ハ ペイント塗装ができる。
- ニ 粘着シート加工ができる。

315 アルミニウム面の塗装前に行う素地調整の方法として、適切なものはどれか。 (17年度 択一)

- イ ラッカーシンナーで拭く。
- ロ 中性洗剤で洗浄する。
- ハ 研磨紙で肌を粗くする。
- ニ エッチングプライマーを塗布する。

316 塗装用刷毛として使用されないものはどれか。 (17年度 択一)

- イ ダスター刷毛
- ロ 羊毛刷毛
- ハ 人造毛刷毛
- ニ 馬毛刷毛

317 ラッカーを吹付け塗装したとき、みかん肌のような凹凸が生じた原因として適切なものはどれか。 (17年度 択一)

- イ 塗料の粘度が高かったため
- ロ 湿度が高かったため
- ハ 塗料を薄めすぎたため
- ニ 厚塗りしすぎたため

318 ラワン材のような目のある硬質材にOP仕上げをする手順として、誤っているものはどれか。 (17年度 択一)

- イ 下塗り後、合成樹脂エマルションパテでパテしごきを行い、研磨し、OP仕上げする。
- ロ 下塗り後、オイルパテでパテしごきを行い、研磨し、OP仕上げする。
- ハ 下塗り後、よく乾燥して研磨し、厚めにOP仕上げする。
- ニ 下塗り後、パテ、乾燥、研磨、OP、乾燥、研磨、OP仕上げする。

319 塗面にチリメン状のちぢみやつやむらができる原因とその対策の組合せとして、適切でないものはどれか。

- | 原因 | 対策 | (17年度 択一) |
|---|----|-----------|
| イ 下塗りの乾燥不十分なまま上塗りをした。・・・上塗りに乾燥促進剤と希釈剤を加える。 | | |
| ロ 上塗塗料の溶剤が下塗りをおかした。・・・・・適正な塗装時間の間隔を守る。 | | |
| ハ 上塗りを高温で乾燥促進した。・・・・・自然乾燥する。乾燥湿度に注意する。直射日光を避ける。 | | |
| ニ 一度に厚塗りした。・・・・・・・・・上乾きし、ちぢみを生じるので適量を守る。 | | |

320 刷毛塗りした面に仕上げ塗りの条線(筋目)が残ったとき、原因とその対策の組合せとして、適切でないものはどれか。

- | 原因 | 対策 | (17年度 択一) |
|-----------------------------------|----|-----------|
| イ 刷毛の毛が粗い、短い・・・塗料の種類によって適切な刷毛を選ぶ。 | | |
| ロ 塗装時低温・・・・・少量の希釈剤を加える。 | | |
| ハ 粘度が高い・・・・・希釈剤を加え適正な粘度で塗る。 | | |
| ニ 塗装時高温・・・・・毛の粗い刷毛で塗る。 | | |

321 広告板の製作・施工に関する記述として、正しいものはどれか。 (16年度 択一)

- イ 広告板の鉄骨枠の上に鉄板を張る場合は、さびや汚れが広告板面に現われないように、下から上に貼り付けていく。
- ロ 広告面の板面塗装で塗料を塗り重ねるとき、下層の塗膜が十分硬化していないとちぢみやつやむらを生ずる。
- ハ ゴシック筆で文字を書く場合は、書きやすくするために穂先を切りそろえるとよい。
- ニ 広告板の取付けで、建築物の壁面の建築時にアンカーボルトを埋め込む作業をホールインアンカという。

322 ローラブラシ作業に使用されない器工具はどれか。 (16年度 択一)

- イ ローラミル
- ロ ローラネット
- ハ ローラバケット
- ニ ローラパン

323 プラスチック板同士を、重ね合わせて接着するときの道具の組合せとして、適切なものはどれか。 (16年度 択一)

- イ 注射器、ピアノ線、小筆
- ロ 注射器、コーティング、へら
- ハ 噴霧器、ゴムローラ、小筆
- ニ 噴霧器、刷毛、へら

324 電動ポータブルサンダに関する記述として、誤っているものはどれか。 (16年度 択一)

- イ 前後運動をするものは、木材の素地調整、目止め調整などに適している。
- ロ 力強く押さえつけると運動スピードが増し、圧力によって作業能率を良くする。
- ハ 円弧運動のものは、さび落としなどの粗い研削作業又はつや出し研磨などに適している。
- ニ 空気式サンダと電気式サンダがある。

【専門以外の仕上げ法】

325 透過形のOHPに使用する原稿は、透明シートである。 (18年度 真偽)

326 硬質塩化ビニル低発泡板は、一般の硬質塩化ビニル板と同様に、粘着シートとの密着強度が良好な素材である。 (18年度 真偽)

327 障子紙やその他の和紙には、インクジェット出力できるものはない。 (18年度 真偽)

328 金属薄板の穴あけ用のホルソーは、プラスチック板の穴あけには使用できない。 (17年度 真偽)

329 金、銀、ミラー等のポリエステル系粘着シートは、通気性がないため、プラスチック板に貼ると気泡ができやすい。 (17年度 真偽)

330 チャンネル文字の製作には、アルミ材、銅、真鍮、ステンレス等が適している。 (17年度 真偽)

331 アルミ樹脂複合板は直角に曲げることが容易である。 (17年度 真偽)

332 打抜き可能な塩化ビニル板の板厚は、常温で約10mmまでである。 (16年度 真偽)

333 スクリーンプロセス印刷のための原稿には、左右反転された図柄を描く。 (16年度 真偽)

334 ニス原紙を使用するスクリーンプロセス印刷において、最も適しているスクリーンはどれか。 (18年度 択一)

- イ 絹
- ロ ナイロン
- ハ テトロン
- ニ ステンレス

335 亜鉛引鉄板張り広告板を粘着シートで全体に貼り込む作業に関する記述として、適切なものはどれか。

(17年度 択一)

- イ ペイントによる下地塗装が必要である。
- ロ 素地調整が必要である。
- ハ プライマー塗装が必要である。
- ニ 防せい処理が必要である。

336 粘着シートの被着体への接着力が、最も弱い被着体はどれか。 (17年度 択一)

- イ 合板
- ロ 鉄板
- ハ アクリル板
- ニ 塩化ビニル板

337 木彫広告板の加工に最も多く使用されている材料はどれか。 (16年度 択一)

- イ ラワン材
- ロ 赤松材
- ハ カツラ材
- ニ 杉征目材

276 ×
277 ○
278 ×
279 イ
280 口

【安全衛生】

281 ○
282 × 特別教育修了証が必要。労働安全衛生法第59条第3項にもとづき、労働安全衛生規則第36条第5項に定められている。
283 ×
284 ○
285 ×
286 ニ
287 ニ 空気環境(CO、CO₂濃度、粉じんなど)、温熱環境(温度、湿度)、視環境(照度、色彩など)、音環境(騒音、BGMなど)はどの産業にも共通の作業環境。(社団法人全日本屋外広告業団体連合会発行「屋外広告工事の安全作業マニュアル」)
288 イ

【機械器工具】

289 ○
290 口

2級ペイント

【専門仕上げ法】

291 ×
292 ○
293 ○
294 × アルコールで洗う。
295 ×
296 × 濃いと固すぎて詰まる。
297 ○ アルミニウムの粉が原料。
298 ○
299 ○
300 ×
301 ×
302 ×
303 ○
304 ×
305 ×
306 ○
307 ○
308 ハ
309 イ
310 ニ
311 ニ 砲金(ブロンズ)は青銅に亜鉛と鉛を加える。
312 イ 他は塗装用と経師用の工具。
313 口
314 イ
315 ニ イ、口は油分、汚れを落とすだけ。ハはアルミニウムは硬度が低いので、深い傷が残り、塗り上がり時に研磨傷を隠せない。

- 316 イ
317 イ 湿度が高い(口)と白化する。薄めすぎ(ハ)、厚塗りしすぎ(ニ)は流れる。
318 ハ
319 イ 下塗りの乾燥状態を確かめて上塗りする。乾燥促進剤は状態を悪化させる。
320 ニ 高温で乾燥も早くなるので、毛の粗い刷毛で塗ると条線が甚だしくなる。
321 口
322 イ
323 イ 重ね合わせたプラスチック板の間にピアノ線をはさみ、すき間に注射器で接着液を注入しながら、ピアノ線を移動させ接着する。
324 口

【専門以外の仕上げ法】

- 325 ○
326 × 低発泡で表面が平滑ではなく、粘着シートの接着強度は低く、粘着シート貼加工には向かない。
327 ×
328 ×
329 ○
330 ○
331 ×
332 ×
333 ×
334 イ
335 口 汚れ、油膜をふきとり、白さびをとる。
336 イ
337 ハ

2級シート

【専門仕上げ法】

- 338 ○
339 ×
340 ×
341 ×
342 ○
343 ○
344 ○
345 ○
346 ×
347 ○
348 ○
349 ×
350 ○
351 ○
352 ×
353 ○
354 ○
355 ×
356 ○
357 ○
358 ○
359 イ